



## 交通事故防止を呼び掛け

「夏の交通事故防止運動の啓発イベント」として、西脇警察署や西脇多可交通安全協会などが西脇工業高校陸上競技部の新入部員に反射たすきと反射シールを贈呈しました。西脇警察署の杭田徹交通課長が反射材の使い方を説明。「夜間でも車が気付きやすいように反射材を活用し、気を付けて練習してください」と校外でランニング練習を行う部員たちに交通事故への注意を呼び掛けました。〔7月15日／市内〕



## 感謝を込めてありがとう15周年祭

農産物直売所「北はりま旬菜館」で、開業15周年を記念した周年祭が開催されました。出荷者の皆さんは、イベントに合わせて新鮮な農作物をいつもより多く取り揃え、来客を出迎えました。色とりどりの装飾で、店内は華やかな雰囲気になりました。農産物の詰め放題や黒田庄和牛などの豪華景品が当たる抽選会も行われ、家族連れを中心に2日間で約4千人が訪れました。〔7月4日、5日〕



## マイスター（匠）に学ぶものづくりの魅力

西脇小学校で、6年生63人が「ものづくり実演&体験教室」に参加し、実際に手を動かしながら“本物の技”に触れました。卓越した技能を持つものづくりマイスターが来校し、表装や和裁、写真など6分野で特別授業を行いました。

各教室では、マイスターが道具の扱い方や作業のこつを丁寧に伝え、児童たちは熱心に耳を傾けながら、ものづくりに挑戦しました。初めて触れる技術に少し戸惑いながらも、一つ一つ作業を進め、和紙のにりを塗る慎重な手つきや、カメラのシャッターを切る楽しそうな表情が見られ、普段の授業とは一味違う体験を楽しみました。

児童からは「貴重な経験ができてうれしい」「完成した作品を早く家に飾りたい」といった感想が聞かれました。〔6月25日〕



## 新みどり園竣工式

西脇市と多可町の新ごみ処理施設「みどり園」（多可町）の竣工式が執り行われました。式典で片山市長は「より多くの方に利用していただき、親しんでもらえる施設となるよう運営していきたい」と述べました。〔6月27日〕



## 希望ある地域社会へ

日本生命保険相互会社と「地方創生に関する連携協定」を締結しました。持続可能な地域社会の実現に向けて、健康増進や疾病予防、地域福祉の向上など幅広い分野で連携を進めます。〔6月26日／市役所〕



## 講談で学ぶ、明るい社会

社会を明るくする運動の一環として、講談師の旭堂南海さんが黒田庄中学校で講談を披露。生徒たちは、登場人物ごとに変わる声色や軽快な口調に引き込まれながら、犯罪や非行のない社会への理解を深めました。〔7月1日〕



## あじさい園開園50周年記念植樹

西脇市あじさい協会が西林寺の境内にある「都麻乃郷あじさい園」の開園50周年を記念し、あじさいの記念植樹を行いました。片山市長らが参加し、「昭和51年の開園以来、地域の宝として大切に守り育て、交流の輪を広げてくださったことに感謝したい」とあいさつ。節目の年を参加者とともに祝いました。〔6月20日〕



## 播州織工房館道の駅が開業

3月に閉館した播州織工房館の販売コーナーの一部を道の駅北はりまエコミュージアムへ移設し、「播州織工房館道の駅」が開業しました。当日は多くの方が来館し、開店記念品100人分は5分でなくなるほどの盛況でした。来館者は色鮮やかな播州織の生地や製品を手に取りながら、買い物を楽しみました。〔7月5日〕